市の食育の取り組み

～食育月間（6月）～

目次

- 環境課の取り組み
- 保険健康課の取り組み
- 農林課の取り組み
- 小学校の取り組み（第一小学校・第四小学校・第五小学校
  三会小学校・大三東小学校・湯江小学校）
- 中学校の取り組み（第二中学校・第三中学校・三会中学校）

環境課の取り組み
～生ごみ堆肥化推進事業～

市内小学校の小学４年生を対象に、生ごみの堆肥化の取り組みを行いました。

〈対象〉・島原市立高野小学校 ４年生７名　・島原市立第五小学校 ４年生６１名

〈内容〉

・1 回目（6月12日）

　各々の自宅から持ち寄った生ごみと EM ボカシを混ぜて発酵させた堆肥を、学級園に投入し、生ごみを堆肥化し野菜をつくる前の土づくりの取組を行いました。

・2 回目（6月18日）

　生ごみを投入してから約 6 日が経過したため、土の中での生ごみの発酵状況確認と、更なる発酵を促すため、耕耘を行いました。

・3 回目（6月25日）

　前回耕耘してから約７日が経過したため、土の中での生ごみの発酵状況確認と、更なる発酵を促すため、耕耘を行いました。

保険健康課の取り組み
～食育展示～

市役所1階エントランスホールにて、市民の食育への関心を高めることを目的に食育展示を行いました。

〈内容〉

- 展示
  - ・島原市の食育推進について（第4次島原市食育推進計画概要）
  - ・朝食摂取、食事バランスについて
  - ・食育活動紹介
- レシピ配布
  - ・まるっと島原めし（島原市食生活改善推進員協議会作成）
  - ・毎日食べよう朝ごはん（島原市食生活改善推進員協議会作成）

農林課の取り組み
～舞岳山荘での農業体験～

5月28日から6月25日にかけてサツマイモ苗植え体験を行いました。

〈対象〉

・市内認定こども園、保育所等　14団体366名

当施設では活力ある地域づくりの一環として、学童が農業に親しむ機会をつくり、農業に対する理解を深めることを目的として、平成9年の開館より市内の学童を対象に体験農園を実施しております。

第一小学校の取り組み
～完食への意欲を高める取組～

- 各学級用の掲示物作成

　感謝の気持ちをもち、完食への意欲を高めるため、給食委員会でポスターを作成しました。「自分が食べられる量を知ろう」、「残さず食べて感謝の気持ちを伝えよう」という文言を入れて作成し、各学級で掲示してもらいました。

- 食育月間についての放送

　給食の放送で、全校に向け、食育月間についての説明を行いました。

- 食に関する訪問指導

　栄養教諭に来校してもらい、１年生に好き嫌いせずに食べるための食育指導を行いました。

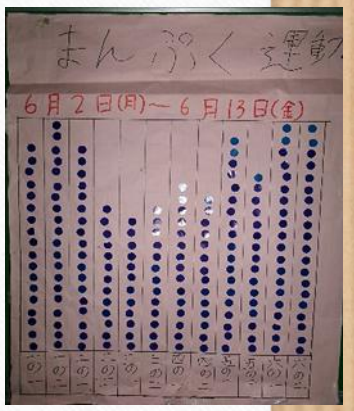
第四小学校の取り組み

- 給食委員会による校内放送や掲示物による食事のマナーの啓発を行いました。放送や掲示した内容は、食事中の姿勢、よくかんで食べる、箸の持ち方、三角食べ（バランスよく食べる）、ごはん粒を集めて食べようという内容を作成し、週の初めに放送で呼びかけ、各教室では掲示物を掲示しながら食事のマナー等の意識を高めました。
- 毎月１９日の食育の日は、世界の料理や郷土料理などを計画し、給食時間の放送で紹介しています。6月はフランスの料理「マリネ」を紹介しました。また、栄養教諭も給食時間に巡回し、毎月１９日は食育の日であることの紹介や、苦手な食材がある児童への声かけを行いました。
- 歯と口の健康週間（６/４～１０付近）に合わせて、給食時間において栄養教諭より「よくかんで食べる」という内容で指導を行い、よく噛んで食べることの意識付けを行いました。また、養護教諭より歯みがき指導の授業を全学年行いました。

第五小学校の取り組み

- まんぷく運動

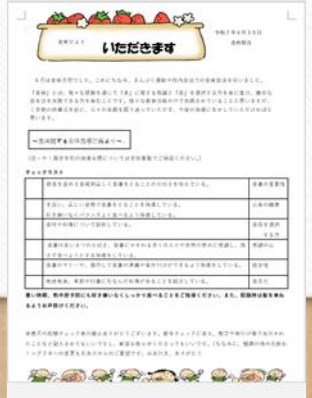
　好き嫌いをせず、残食を減らすことを目的に、全校児童を対象に残食調べを実施した。開始前には、運動の目的を児童に周知し、活動中は、意欲付けになるように掲示板に達成シールを貼るようにした。活動終了時には、校内放送で結果を知らせ、各学級に「まんぷく賞」を渡した。



- 食育月間・食育の日の放送

　毎月１９日に行っている食育の日の放送に加え、６月は食育月間の周知、食に関する話を校内放送で紹介した。

- 食育便り発行　〈対象〉教職員



三会小学校の取り組み

- 食に関する訪問指導　〈対象〉1年生

「野菜のはたらきを知ろう」という題材で、栄養教諭が訪問指導を行いました。

- 完食がんばろう週間(給食委員会の活動)　〈対象〉全校児童

食事のマナーを守り、好き嫌いをしないで完食することを目標に、１週間完食調べをしました。調べた結果は、毎日放送で全校に知らせ、1週間完食できた学級に賞状を渡して、今後への意欲付けを行いました。

- バター作り　〈対象〉４年生とその保護者

保護者（栄養士）の指導のもと、バターがどのようにしてできるのかを学習し、親子でバター作りをしました。ペットボトルに市販の生クリームを入れて振るとバターができ上り、試食をしました。親子で楽しみながら、手作りの良さを感じることができました。

大三東小学校の取り組み

- 栄養教諭の訪問指導
  運搬・配膳・後片付け・食事のマナーの指導等
  ３年生「よくかんで食べよう」、５年生「地場産物を知ろう」
- 給食完食調べ
  ①給食委員会を中心に、片付けの補助と完食調べを行う。
  ②給食掲示板にクラスごとに完食状況を表す。
  ③1か月分を集計し、完食が多いクラスを校内放送で紹介する。
- 校内放送で、地元食材が使用された献立を紹介する。

湯江小学校の取り組み

- 給食におけるＳＤＧｓについての動画視聴

　栄養教諭が作成した「給食におけるＳＤＧｓ」についての動画を視聴することで、自分たちの食べ残しの状況について知り、食べ残さないためにはどのようにしたらよいのかを考える機会となった。

- 給食の木を実らせよう運動（給食残食調べ）

　１週間、給食残食調べを行い、「給食の木※」を掲示した。

※給食の木は、給食完食者が全校の９５％以上：金色の実、８０％以上：赤色の実、７０％以上：黄色の実、６０％以下：水色の実として残食調べの結果を掲示したもの。

第二中学校の取り組み

- 給食時における委員会活動

　委員会活動において学級における残食をなくそうという呼びかけを行い、残食調べを行った。放送で残食のない学級を報告した。その際に好き嫌いをせずいろいろな食品をとるように学級ではたらきかけをしてもらっている

第三中学校の取り組み

- 専門委員会の取り組み

　給食専門委員会において、「給食時の衛生管理に気をつけよう」という目標を掲げ、素早く手洗い準備をして１５分間食事の時間を確保するよう各学級、給食部を中心に声かけをし取り組んだ。

三会中学校の取り組み

- １年１組（３２名）に対して、給食の時間に、中学生に必要なエネルギー量やその摂取について、四小荒木栄養教諭が来校され、講話を行いました。
- ６月の取り組みとして給食中の校内放送を行っています。生徒専門委員会の給食部が、栄養に関する３択クイズを定期的に行いました。